平成26年８月期　中間決算短信（平成25年８月10日～平成26年２月９日）

平成26年３月18日

ファンド名　iシェアーズ　日経225 ETF　　上場取引所　東・大・名・福・札
コード番号　1329　　売買単位　10口
連動対象指標　日経平均株価
主要投資資産　株式

管理会社　ブラックロック・ジャパン株式会社
ＵＲＬ　http:// www.blackrock.co.jp
代表者　代表取締役社長　　出川 昌人
問合せ先責任者　管理部門　業務部　加藤　淳一郎　　(TEL)03(6703)4100
半期報告書提出日　平成26年５月９日

Ⅰ　ファンドの運用状況

１．平成26年２月中間期の運用状況（平成25年８月10日～平成26年２月９日）

（１）資産内訳

（百万円未満切捨て）

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産（負債控除後）		合計（純資産）	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年 ２月中間期	86,229	99.4	520	0.6	86,749	100.0
25年 ８月期	38,424	99.5	177	0.5	38,601	100.0

（２）設定・交換実績

	前計算期間末発行済口数 (①)	設定口数 (②)	交換口数 (③)	当中間計算期間末発行済口数 (①＋②－③)
	千口	千口	千口	千口
26年 ２月中間期	2,794	4,896	1,817	5,873

（３）基準価額

	総資産 (①)	負債 (②)	純資産(③) (①－②)	10口当たり基準価額 ((③/当中間計算期間末(前計算期間末)発行済口数)×10)
	百万円	百万円	百万円	円
26年 ２月中間期	86,834	85	86,749	147,690
25年 ８月期	38,797	195	38,602	138,140

２．会計方針の変更

（１）会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：有・無
（２）①以外の会計方針の変更　　：有・無

Ⅱ【中間財務諸表】

iシェアーズ　日経225 ETF

（1）【中間貸借対照表】

（単位：円）

区　　分	前計算期間末 （平成25年８月９日現在）	当中間計算期間末 （平成26年２月９日現在）
	金　　額	金　　額
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	325,078,545	470,878,354
株式	38,424,452,200	86,229,538,200
派生商品評価勘定	4,473,675	－
未収入金	3,910,200	12,135,384
未収配当金	23,490,000	63,800,600
未収利息	－	774
前払金	－	29,810,000
差入委託証拠金	15,870,000	28,520,000
流動資産合計	38,797,274,620	86,834,683,312
資産合計	38,797,274,620	86,834,683,312
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	－	29,858,825
前受金	7,889,000	－
未払金	－	8,755,352
未払収益分配金	167,655,960	－
未払受託者報酬	8,931,224	20,566,166
未払委託者報酬	11,083,327	26,050,502
その他未払費用	336,000	336,000
流動負債合計	195,895,511	85,566,845
負債合計	195,895,511	85,566,845
純資産の部		
元本等		
元本	29,088,309,060	61,145,019,210
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金	9,513,070,049	25,604,097,257
（分配準備積立金）	694,421	694,421
元本等合計	38,601,379,109	86,749,116,467
純資産合計	38,601,379,109	86,749,116,467
負債純資産合計	38,797,274,620	86,834,683,312

（２）【中間損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

区　　分	前中間計算期間 （自平成24年８月10日 至平成25年２月９日）	当中間計算期間 （自平成25年８月10日 至平成26年２月９日）
	金　　額	金　　額
営業収益		
受取配当金	79,311,170	323,266,400
受取利息	61,099	47,930
有価証券売買等損益	1,792,520,710	△1,277,453,875
派生商品取引等損益	34,554,225	△5,633,250
その他収益	41,377	80,016
営業収益合計	1,906,488,581	△959,692,779
営業費用		
受託者報酬	4,226,953	20,566,166
委託者報酬	5,072,346	26,050,502
その他費用	1,174,862	1,042,375
営業費用合計	10,474,161	47,659,043
営業利益又は営業損失（△）	1,896,014,420	△1,007,351,822
経常利益又は経常損失（△）	1,896,014,420	△1,007,351,822
中間純利益又は中間純損失（△）	1,896,014,420	△1,007,351,822
期首剰余金又は期首欠損金（△）	△1,207,838,877	9,513,070,049
剰余金増加額又は欠損金減少額	35,040,530	26,905,872,280
（中間一部交換に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額）	35,040,530	－
（中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額）	－	26,905,872,280
剰余金減少額又は欠損金増加額	－	9,807,493,250
（中間一部交換に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額）	－	9,807,493,250
分配金	－	－
中間剰余金又は中間欠損金（△）	723,216,073	25,604,097,257

（３）【中間注記表】
（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

１　有価証券の評価基準及び評価方法

株式は移動平均法に基づき、以下の通り原則として時価で評価しております。

(1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券

金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等における中間計算期間末日の最終相場で評価しております。

(2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券

当該有価証券については、原則として、日本証券業協会発表の売買参考統計値（平均値）、金融機関の提示する価額又は価格情報会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。

(3)　時価が入手できなかった有価証券

適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、委託会社が忠実義務に基づいて合理的事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的事由をもって時価と認めた価額で評価しております。

２　デリバティブ等の評価基準及び評価方法

先物取引

個別法に基づき、原則として時価評価しております。時価評価にあたっては、原則として、当該取引所の発表する中間計算期間末日に知り得る直近の日の清算値段又は最終相場で評価しております。

３　収益及び費用の計上基準

(1)有価証券売買等損益及び派生商品取引等損益の計上基準

約定日基準で計上しております。

(2)受取配当金の計上基準

受取配当金は原則として、株式の配当落ち日に予想配当金額を計上し、入金金額との差額については入金時に計上しております。

（中間貸借対照表に関する注記）

区分	前計算期間末 （平成25年８月９日現在）	当中間計算期間末 （平成26年２月９日現在）
1　当該中間計算期間の末日における受益権総数	2,794,266口	5,873,681口
2　１口当たり純資産額	13,814円	14,769円

（中間損益及び剰余金計算書に関する注記）

該当事項はありません。

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

前計算期間末 （平成25年８月９日現在）	当中間計算期間末 （平成26年２月９日現在）
１　貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	１　中間貸借対照表計上額、時価及び差額 中間貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
２　時価の算定方法 (1)有価証券 「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」に記載しております。 (2) デリバティブ取引 デリバティブ取引については、「（その他注記）」の「３ デリバティブ取引関係」に記載しております。 (3) コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。	２　時価の算定方法 (1)有価証券 同左 (2) デリバティブ取引 同左 (3) コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 同左
３　金融商品の時価等に関する事項の補足説明 金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価額がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。 また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額又は計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。	３　金融商品の時価等に関する事項の補足説明 同左
４　金銭債権の計算期間末日後の償還予定額 金銭債権については全て1年以内に償還予定であります。	４　金銭債権の中間計算期間末日後の償還予定額 同左

（その他の注記）

１　期中元本変動額

項目	前計算期間末 （平成25年８月９日現在）	当中間計算期間末 （平成26年２月９日現在）
期首元本額	8,919,194,310円	29,088,309,060円
期中追加設定元本額	20,427,751,200円	50,968,192,800円
期中交換元本額	258,636,450円	18,911,482,650円

２ 有価証券関係

該当事項はありません。

３ デリバティブ取引関係

取引の時価等に関する事項

株式関連

区分	種類	前計算期間末(平成25年８月９日現在)				当中間計算期間末(平成26年２月９日現在)			
		契約額等（円）	うち1年超（円）	時　価（円）	評価損益（円）	契約額等（円）	うち1年超（円）	時価（円）	評価損益（円）
市場取引	株価指数先物取引 買建	145,879,000	－	150,370,000	4,491,000	479,310,000	－	449,500,000	△29,810,000
合計		145,879,000	－	150,370,000	4,491,000	479,310,000	－	449,500,000	△29,810,000

(注) 時価の算定方法

(１)株価指数先物取引の時価については、以下のように評価しております。
原則として中間計算期間末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は証拠金算定基準値段を用いております。このような時価が発表されていない場合には、中間計算期間末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

(２)株価指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。

(３)契約額等には手数料相当額を含んでおりません。